

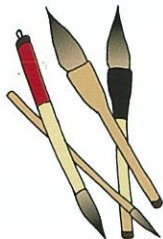
筆に関する Q & A

生徒への
アドバイスに
役立ちます

Q1 筆の寿命について教えてください

A 寿命はさまざまです。生徒で毎週練習される方でいえば、1年を目安に交換されることをおすすめします。

※筆圧の強さ、筆の管理
や手入れによって大き
く左右されます。



Q2 筆の寿命を判断する基準はありますか？

A まずは見た目です。筆管より穂が膨れて墨だまりが生じている筆、穂割れが生じている筆は寿命だと判断する基準のひとつです。

また、見た目が整っていても穂が紙と擦れて摩耗している場合は、新しい筆と書き比べてみてください。新しい筆の方が、トメ・ハネ・ハライなどが書きやすく感じたら、買い替えのタイミングです。



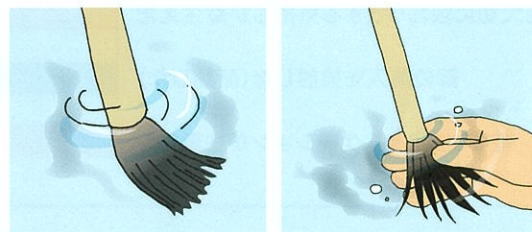
Q3 良い状態でない筆を使用し続けるとどうなりますか？

A 文字が書けないことはありません。しかし、100%の実力が発揮できず、進級や昇段に大きく影響することもあります。



Q4 ガチガチに固まった筆を再生するにはどうしたら良いですか？

A 25℃前後のぬるま湯に浸して、穂先からほぐしながら丁寧に洗ってください。



Q5 熱湯で洗うとどうなりますか？

A 熱湯は毛に良い影響を与えません。また、筆管と穂を接着している糊が溶けてしまい、穂が外れる原因にもなりますので控えてください。



Q6 筆にとって磨墨と墨液では影響が異なりますか？

A 墨液の成分には合成樹脂が含まれていることが多く、天然成分の膠にかわと異なって固まりやすいです。ガチガチに固まった筆を再生する際も穂に負担が生じます。筆を大切に扱うのであれば、磨墨にかわか膠系墨液の使用をおすすめします。

